



施策の柱 4 魅力を効果的に伝える
情報発信の継続的な実施

観 光地としての魅力を広く伝えるため、PR用の動画を集めたDVDや雑誌・新聞社などに提供する写真を集めたフォトライブラリーの整備などに取り組みます。

また、国内外で開催される観光物産展・商談会の情報を収集し、参加希望の民間事業者を募集することなどにより、観光地としての千歳の魅力を伝える取り組みを進めます。

観光は裾野の広い産業です。新しい計画を実現するためには、旅行会社や宿泊施設、観光施設、飲食店、旅行雑誌社、交通機関など、関連するたくさんの方々の事業者と行政の連携が欠かせません。

また、観光のまちとしての魅力を高めるには、市民の皆さんが観光客を温かく迎え入れるおもてなしの意識を持つことが大切です。地域が一体となり観光のまちづくりを進めるため、皆さんのご協力をお願いします。



【お問い合わせは】
観光振興課 企画振興係
☎(24) 0377

※計画は、市のホームページ「ちとせの観光」
「観光トピックス」で紹介しています。

「支笏湖体験物語」が、
足を運んでもらう
きっかけに。

瀬戸 静恵 さん(写真右上)
長谷川 康二 さん(写真左下)



「支笏湖を訪れた方に豊かな自然の魅力に触れてもらいたい」と話すのは、支笏湖の宿泊施設でお客様を迎える長谷川さん。

支笏湖温泉旅館組合とビジターセンターが協力して進める「支笏湖体験物語」では、湖周辺の観察会や紋別岳へのハイキングなど、だれでも気軽に参加できる体験プログラムを開催しています。

ビジターセンターに勤め、観察会などのガイドを担当する瀬戸さんは「参加する方には、自然のことだけでなく、その背景や歴史なども伝えていきます」と話します。

「現在の内容を工夫したり、新たな内容を加えたりして、より満足度の高いものにするので、『支笏湖体験物語』を支笏湖に定着させたい」と口をそろえる2人。

「定着させるために、訪れた方が気軽に参加できるものからじっくりと楽しめる体験プログラムまで、幅広い選択肢を用意して『支笏湖に来ればなにかができる』仕組みをつくりたい。『体験物語』をきっかけにたくさんの方に支笏湖へ足を運んでいただき、支笏湖地区全体の観光を盛り上げたいですね」その目標に向かって2年目の取組が始まりました。



観察会のようす



施策の柱 3 観光まちづくりとおもてなし意識の向上

た くさんの方に訪れていただくためには、繰り返し訪れる方（リピーター）を確保することや海外から訪れる方を誘致することが必要です。

そのためには、千歳を訪れる観光客へのおもてなしの意識を高めることが大切です。

空港や主な観光施設で観光情報を発信するほか、観光客の案内を行う観光ガイドの育成などに取り組みます。

また、海外からの観光客にわかりやすい外国語で観光案内ができる仕組みをつくりたい。